

2024. 2月

女性チャレンジ応援拠点だより



コラム 「チャレンジにめぐらす〈春〉」

4日に立春を迎えました。まだまだ寒さは続きますが、遅かれ早かれ毎年「春がくる」。能登半島地震の被災地にも、いずれ、「春がくる」。明るい未来への想像と創造を、みなさんと共有したいと思います。

そこで2月の『A1 実用元年、際立つ〈あなたならでは〉の想い、チャレンジ』は、「あなたのチャレンジにめぐらす〈春〉」です。チャレンジは自らの想い、意志で始めることですから、〈春〉をくるようにするのも、自分自身ですね。これまでも何度となくお伝えしているように、いざ始めてみると、“こんなはずじゃなかった…”と、現実の厳しさに意気消沈すること多々。それでも試行錯誤、悪戦苦闘、学びの努力などを続けるうちに、思いがけないチャンスがめぐってきて、「春がくる」。

ただ、ホッとそこに安住していると、しだいにまた“こんなはずじゃなかった…”という状態が訪れます。「経営」の基礎知識の一つに経営の四段階説というものがあり、成長発展の過程を、草創・創業期→成長期→安定・成熟期→衰退・再成長期の4つのステージでみるものですが、平たくいえば、「わが世の春」もずっと続くワケではない、いずれまた新しいアプローチが必要になるから、調子のいい間にその準備をしておきましょう、ということです。

自分ならではのチャレンジにまた新しい〈春〉をめぐらせるのは、自分自身。だからといって無理する必要はありませんね。人によって「無理」の度合いも違いますが、あなたにとっての無理はせず、状況に応じ、今できるコトに集中して努力する。そうするうちに、状況もまた変化し、何より自分自身の心境が変化し、“もっと動こう、世に出よう！”という時が来るのです。

ところで、今の時代、一つ留意しておきたいのは、ネット、特にSNSにあがる批評や声への感応です。あなたのチャレンジが目立てば目立つほど、好意的なものばかりでなく、時には心無い声で盛り上がっている場合もあります。気にしないで済む方はいいのですが、人によっては、かなり心理的なストレスをうける。逆にめざましい活躍をする同業他者を知り、自分と比較して、自信をなくし、自分自身のやり方に疑念をもつようになって、これもまた心理的なストレスになるといったケースもあります。

リアルな活動においてもストレスは付きものなのに、マイナスのストレスが上乗せでかかると、けっこう堪えます。自分をとり戻すのに、時間のかかる人もいます。そうならないように、今から約500年前の人の言葉ですが、『それだけになおさら、自分の心により強い力にみちた備えを仕込んでおかなければならない』（モンテニユ）を贈ります。

その一つの策としても、どうぞ「女性チャレンジ応援拠点」をご利用ください。〈話せる〉スタッフが、あなたのお話にじっくり耳を傾け、今後のアプローチに何かしらヒントをお話します。来室されたおりに、もし他に利用者が居合わせたなら、その方からも温かく、率直なお話も出るはずですよ。チャレンジの内容は異なっても、想いは同じですから、あなたに共感できるのです。

まもなく本格的な春、スタッフ一同、みなさまと共に春の陽気につつまれて、新しい季節のめぐりを進めていきたいと思えます。みなさまのご利用をお待ちしています。

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館
(電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705)

※開室日

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

※開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

